

診療科のご紹介

循環器内科

地域を守る
循環器内科の取り組み



- 左から
- はたなか くにひこ
幡中 邦彦
第二循環器内科部長
 - ふじお ひでき
藤尾 栄起
第一循環器内科部長
 - おおた なおき
太田 直希
専攻医
 - てらにし じん
寺西 仁
不整脈診療部長
 - ともぎね けんた
友實 健人
医師
 - いそかね ゆうき
磯金 優樹
専攻医
 - とびた さとし
飛田 諭志
第一循環器内科副部長

●お仕事に関する相談会のご案内●

仕事を辞めると
決めてしまう前に
今できることは何か一緒に考えませんか？

完全予約制

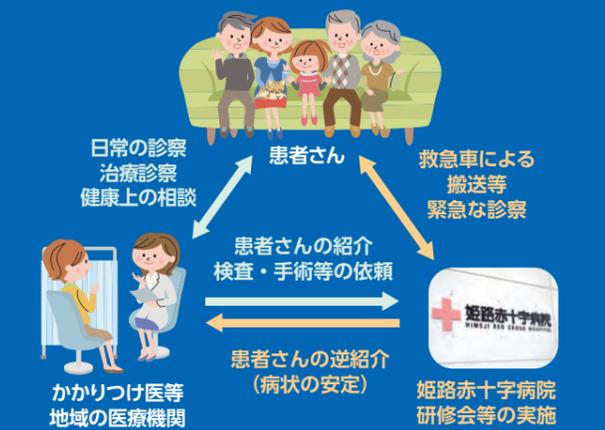
お気軽に
お問合せ
ください

当院では次のような就労に関する相談会を実施しています。

<p>ハローワークの 出張相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2火曜日 14:00~16:00 ・完全予約制 	<p>社会保険労務士による 相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第4金曜日 13:30~17:00 ・完全予約制
<p>お問い合わせは お電話または相談支援センター窓口へどうぞ 電話 079-294-2251(代表) 079-299-0037(直通)</p>	

＼ 姫路赤十字病院を受診される皆様へ /
かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常的な健康管理や風邪をひいた時、あるいは体調などに不安を感じた時、慢性期の継続的な治療が必要な時にかかる診療所や医院の医師のことです。入院や専門的な治療が必要な時には、かかりつけ医からのFAX紹介で大きな病院にかかりましょう。



姫路赤十字病院は、「地域医療支援病院」です。

姫路赤十字病院 地域医療連携室
TEL : 079-294-2251(代)

循環器内科は、修練医2名を含めた8名のスタッフで診療を行っております。平日日中は、「動悸や息切れ、胸の痛みや重苦しい感じ、足の腫れ」などを主訴とした循環器疾患（心不全、不整脈、狭心症や心筋梗塞、心臓弁膜症、心筋症、下肢閉塞性動脈硬化症、肺高血圧症や静脈疾患など）を中心に診療をしています。また休日夜間は、心臓血管外科医や脳神経外科医と協力し、急性心筋梗塞や急性大動脈解離、急性動脈閉塞、不整脈、脳卒中といった緊急の心血管イベントに迅速に対応できるような体制を構築しています。

高齢化社会においては、心不全の割合が増加しています。その診療は非常に複雑ですが、我々専門医がその原因、病態を紐解いていくことで、少しでも皆様のお役に立てればと考えています。

医療にも働き方改革の波が押し寄せています。チーム医療やタスクシフトなどを上手く活用し、また、かかりつけの医療機関の皆様と密に連携させていただくことで、当地域の医療に少しでも貢献できればと考えています。これからも、皆様の不安に寄り添った診療を心がけていきたいと思ひます。 第一循環器内科部長 藤尾 栄起

＜心不全とBNP* (NT-pro BNP)＞

*脳性ナトリウム利尿ペプチド

日本循環器学会では一般の方にもわかりやすいよう、心不全を次のように定義しています。「心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみがおこり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です」。近年の薬物療法、非薬物療法の進歩により、心不全診療は大きく変貌を遂げています。しかし心不全は多様な病因や病態を有するため、個々の症例に応じた適切な治療選択が必要となります。また高齢者の方が多く、複数の合併症を有しており、その診断、治療は非常に複雑です。心不全は早期からの介入がとても大切です。高血圧や糖尿病も心不全への入り口として捉えられる時代です。心不全の指標の一つとしてBNP (NT-pro BNP) が推奨されています。血液検査で簡単に調べることができます。この機会に、是非一度かかりつけ医療機関等でご相談ください。

New!

制服リニューアル

2025年4月より、各職種のユニフォームが変わりました。職員からは「通気性が良く動きやすい」と大変好評です。装いも新たに心機一転、地域の皆様が安心して暮らせるよう努めてまいります。



医師
病気やけがを診断・治療し、患者さんの健康を回復・維持します。



診療放射線技師
放射線を利用した検査等を行い、病気やけがの診断・治療をサポートします。



薬剤師
医薬品に関する専門知識を持ち、患者さんに対して安全かつ効果的な薬物治療を提供します。



看護師（一般：日勤女性）
医師の診察や治療の介助、患者さんの日常生活のサポートをします。



看護師（一般：夜勤女性）
制服の色で勤務時間帯が一目でわかりやすくなりました！



看護師（師長）
ショルダーラインに赤十字オリジナルの3本のタックが入っています。



看護師（一般：日勤男性）



看護師（小児病棟：日勤）



臨床検査技師
血液検査や心電図などの検査結果を提供し、医師の診療をサポートします。



臨床工学技士
医療機器を安全に操作・管理し、患者さんの治療をサポートします。



視能訓練士
視力や視覚機能の回復、維持を目的とした訓練やリハビリテーションを行います。



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
病気やけがの患者さんに対して、日常生活に戻れるよう機能の回復をサポートします。



管理栄養士
病気にあった食事を考えたり、栄養指導を行い栄養状態の改善をサポートします。



調理師
患者さんの病状や治療に合わせた栄養バランスの取れた食事を提供します。



公認心理士
カウンセリングや心理的な評価を行い、心理的な問題を抱える人々に対してサポートします。



遺伝カウンセラー
遺伝に関する疾患の情報提供や、患者さん・ご家族の思いに寄り添いながらサポートを行います。



医療秘書
事務作業や書類の整理、患者情報の管理などを行い、医師をサポートします。



New!
制服リニューアル



歯科衛生士
歯科医師と協力して、患者さんの口腔ケアを行ったり、歯科治療の補助を行います。



医事課
診療報酬請求、カルテの管理、保険請求業務など、病院の運営に関わる事務的な業務を行います。



ソーシャルワーカー
患者さんやご家族の療養生活に関わる相談に応じています。



病棟クラーク
病棟で、患者さんの入退院手続きなど、さまざまな事務作業を行います。



保育士
小児病棟で、入院中の子どもたちの生活支援や心理的サポートを行います。



看護補助者
看護師と密に連携し、患者さんの身の回りのケアなどをサポートします。

看護部だより

看護の原点回帰で質向上

地域に根ざした赤十字病院としての看護を目指して 看護部 下田 明美・小林 寿代

新人を含め4月に入職した77名の看護師・助産師たちは、日々の業務を通じて多くを学びながら、一歩ずつ成長を重ねています。初々しさの中にも真剣なまなざしがあり、患者さんに寄り添う姿勢が私たちにとてもよい刺激となっています。

過去2年間は、「職員満足なくして患者満足なし」との思いで、継続して看護職の働き方改革と看護職の離職防止に取り組んできました。結果、正規職員の離職率は改善しR4年度8.7%からR6年度6.9%に低下しました。今年度は、「看護の原点回帰」を方針として挙げ、看護の質向上に注力していきます。

看護師という職業は、患者さん、地域住民の皆さんと関わりを持ちながら、一方向ではなく、看護を通して自分自身の人生も豊かにし

てくれます。地域に根ざした赤十字の病院として、“そばにいること”“相手を知ろうとすること”“心に寄り添うこと”を大切に、技術だけでなく、温かさのある看護を提供していくことを目指しています。

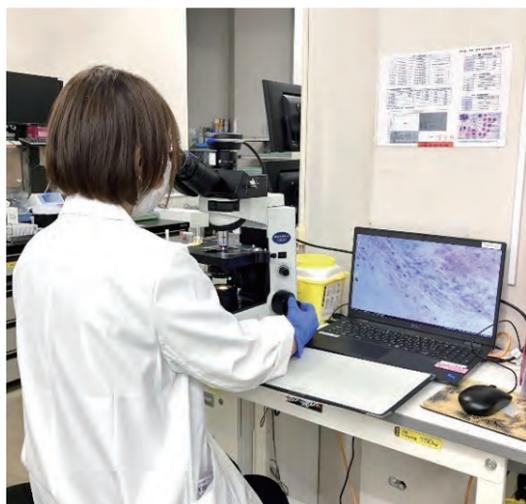


検査技術部だより

技術研鑽で医療を支える

検査の技術と結果を一定に ～検査室内の精度管理～ 検査技術部 松崎 俊樹

検査技術部には48名の臨床検査技師という資格を持つスタッフが、日々、様々な検査を行っています。



検査の中には顕微鏡で細胞を評価する検査、エコーの画像評価や心電図の波形解析を行う検査があります。

これらの検査では私たち臨床検査技師の高い技術や知識に基づく判断が必要となります。

臨床検査技師によって、判断が異なれば、病院に来る度に検査結果が良かったり悪かったりと変わってしまうかもしれません。

そのようなことがないように、検査技術部では、技師間の判断の差を埋めるために目合わせ確認試験を行っています。その結果を基に個人毎のバラツキがなくなるよう教育や研修を行っています。また、外部の講習会や学会にも積極的に参加し、技術や知識のベースアップのために自己研鑽に励んでいます。

これからも質の高い安定した検査結果を提供し、姫路赤十字病院の信頼できる医療を支えていきたいと考えています。



SAWAYAKA DAYORI

各部・各課のスタッフから健康や医療の情報について紹介します。

薬剤部だより

夏場のお薬、正しい保管方法

夏場のお薬の保管

薬剤部 島田 健

暑い時期は食べ物の保管にも気を遣いますが、お薬も食べ物同様に保管には注意が必要です

<保管場所>

- 直射日光を避けましょう
- できるだけ涼しい部屋に保管しましょう
- 特に車内などは高温により品質を損なう可能性があります

<保管時の注意>

- 薬によっては湿気に弱いものがあります
- 特に湿気に弱い薬剤（口腔内崩壊錠：OD錠）が一包化されている場合は要注意
⇒乾燥剤と一緒に密閉容器に保管することも考えましょう

<その他の注意点>

- 冷蔵庫内で保管が必要な薬剤は凍結に注意しましょう
- 薬剤によっては遮光が必要なものがあります
⇒処方を受けた際に薬局でご確認下さい

いかがでしょうか？ 普段でもお薬の保管には気を遣いますが、暑さと湿度にも注意が必要となるのが夏です。くれぐれも炎天下の車内にお薬を放置、などということはお控え下さい。



栄養課だより

腸内環境を整えて夏を健康に

熱中症とお腹の調子

栄養課 河田 茉鈴

夏になると、気温の上昇や冷房環境での生活により、体調を崩しやすいことから、熱中症になりやすいといわれています。夏を乗り切るには、免疫力を上げて、日頃から体調を整えておくことが大切です。そこで重要なのが腸内環境を整えることです。腸は「免疫の司令塔」といわれており、腸内環境の乱れは免疫力の低下に大きく関係しています。今回は、腸内環境を整えるために、食事で気をつけるポイントをご紹介します。

喉が渇く前に水分をこまめにとりましょう

水分不足は便秘につながり、体内に老廃物が長期間滞留してしまうと、腸内環境の悪化を招きます。

食物繊維やビタミンを多く含む食品を食べましょう

食物繊維には便秘改善、ビタミンには悪玉菌の増殖抑制や免疫細胞の活動を支える善玉菌の増殖を助ける働きがあります。野菜やきのこ類、いも類や海藻類を積極的に食べましょう。

発酵食品を食べましょう

発酵食品には善玉菌を増やしたり、善玉菌の働きを助ける効果があります。

発酵食品：ヨーグルト、キムチ、納豆、味噌、チーズなど

お腹を冷やしすぎないようにしましょう

腸内温度が下がると、免疫力低下につながるため、冷たいもの摂りすぎや冷房の温度設定には注意しましょう。

腸内環境を整えて、夏を元気に乗り切りましょう！



リハビリテーションだより フレイル理解で健康長寿を目指す

フレイル

「フレイル」とは、年齢に伴い身体の様々な機能が低下することによって、健康障害に陥りやすい状態をいいます。健康な状態と要介護状態の中間にある「虚弱状態」を指します。

フレイルは大きく3つの特徴があります。一つ目が「身体的フレイル」です。運動器の障害で移動機能が低下（ロコモティブシンドローム）、筋肉量が減少（サルコペニア）するなどが代表的な例です。年齢と共に、筋力は自然と低下していきます。

二つ目が「精神・心理的フレイル」です。高齢になり、定年退職や、パートナーを失ったりすることで引き起こされる、抑うつ状態や軽度の認知症の状態などを指します。

三つ目が「社会的フレイル」です。家族や近隣住民との交流や、外出機会の減少などにより社会とのつな

リハビリテーション技術課 岡 智子

がりが希薄化することをいいます。

近年、高齢者は、健常な状態から要介護状態になるまでに、「フレイル」という中間的な段階を経ていると考えられるようになりました。フレイルの状態や兆候を知っておくことで、その後の身体的・精神心理的・社会的に不健康になることを予測し、予防しやすくなります。フレイルを予防し、要介護にならないようにすることで健康寿命を伸ばしたいですね。



看護学校だより

令和7年度 新入生を迎えて

姫路赤十字看護専門学校は、4月4日（金）に令和7年度入学式を挙行了しました。今年は第127回生となる、女子35名・男子7名の計42名が看護師を志して本校に入学しました。入学式では岡田裕之学校長が、「赤十字看護専門学校で学ぶという自覚を持って、クラスメイトとの出会いを大切に、勉強だけでなく興味を持ったいろいろなことに取り組み、学んでください」と、新入生にエールを送られました。

学生たちはこれから3年間、看護師を目指して講義や実習に取り組んでいきます。5月には「地域の生活を知る」という講義の中で、地域で暮らす健康な人の生活や健康管理について学ぶことを目的として、姫路

看護師の夢へ 姫路赤十字で新たな一歩

姫路赤十字看護専門学校 木本 菜見子

市内の自治会、作業所等に演習に伺いました。また6月には「基礎看護学実習Ⅰ」が始まります。本校のスローガン「Next Stage～踏み出そう夢への一歩～」を胸に、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

本校は今年度も学生募集を行います！入学試験の概要はホームページ、Instagramでお知らせしますので、ぜひチェックしてください。姫路赤十字看護専門学校で、一緒に看護師を目指しましょう(^ ^)！

Instagram



学校長式辞



新入生宣誓



3年間頑張ります！

職業体験イベント 「病院のしごと体験ツアー」を開催しました



次世代の医療人を目指すきっかけを作ることを目的に、5月17日（土）、職業体験イベント「病院のしごと体験ツアー」を開催しました。

応募いただいた姫路市内の小学5・6年生40名に、6つの職業を2つのコースに分かれて体験していただきました。「将来なりたい仕事が見つかった!」「病院のことがわかって楽しかった!」と、とてもうれしい感想をたくさんいただきました!

医療を身近に感じていただける良い機会となったのではないのでしょうか。この体験の様子を姫路ケーブルテレビに取材していただきました。



番組名：元気印姫路っ子（ひめちゃん11ch）
放送日：6月21日（土）～6月30日（月）
10:45～、18:30～、21:30～

放送終了後、見逃し配信アプリ「ロコテレ」でアーカイブ放送予定です。ぜひご覧ください。



相の会は、すべてのがん患者さんと家族が対象の患者会です。

「相の会」のはじまり

「がんを生き抜くためには、同じ体験をした人との交流が必要。同じ悩みを持つ仲間と集まり、わきあいあい(相相)と過ごし、気持ちを楽にしてがんと共に生きる力を持ちましょう!」と訴えかけた婦人科の患者さんの思いがはじまりです。

現在の「相の会」

平成15年に発足し、当初は婦人科の患者さんのみが対象でしたが、他科の女性患者さん、男性患者さんと少しずつ対象を拡大し、現在は当院への受診の有無に関係なく「すべてのがん患者さんとその家族」を対象としています。

アピアランスケア～眉の描き方～の振り返りから

3月のがんサロン「相の会」では医療アートメイク看護師による「眉の描き方を学ぼう」というテーマで講演会がありました。眉毛を描くときのポイントを教えていただき、みんなで鏡を見ながら好みの眉を描きました。院外の医療者の参加もあり、きれいに描くのは難しいけど必要な情報を分かりやすく伝えられるようにと真剣に取り組んでおられました。4月のがんサロンでは、そもそも男性は眉ペンシルもイメージできないとの疑問、必要なメイク道具を揃えてほしいとの要望、世話人さんからは不安を少しでも和らげられたい、どんな気がかりにも寄り添っていきたい、と活発に意見が飛び交う振り返りとなりました。



がんと診断され治療が始まる時期から、患者さまと家族でどんなに頑張っても解決できない悩みや抱えきれない気持ちが湧くことがあります。相の会では、参加者で病気の体験を分かち合っています。人の話を聞いたり自分の言葉で気がかりを語ってみると、笑顔がこぼれており本来の自分に戻られるヒントを得られているように思います。

がん相談員として、世話人さんや参加者のご意見を頂きながらサロンの環境づくりや勉強会企画を行い、気軽にお越しいただけるがんサロンを皆様とともに築いていきたいと思っています。

専門相談看護師 嶋屋 智子

「相の会」についてのご相談、ご質問等は総合相談支援課(079-294-2251代)または相談支援センターで受け付けています。お気軽にどうぞ。